



埼玉県のマスコット コバトン

# 埼玉県 獣医師会 報

# 第743号

令和7年9月20日編集

発行所  
公益社団法人 埼玉県獣医師会  
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340  
(埼玉県農業共済会館内)  
電話 048(645)1906  
FAX 048(648)1865  
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp  
URL : <https://www.saitama-vma.org/>  
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 中村 滋  
編集責任者 高橋 一成  
印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

## 記事の内容

埼玉県内における重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) ウイルス感染アライグマの確認について ..... 1  
国内外における重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の発生状況について ..... 2  
獣医療関係者のSFTS発症動物対策について (2025バージョン) ..... 3

### 予告

北支部・しゃくなげ会合同研修会のお知らせ ..... 9  
JAHA年次大会のお知らせ ..... 10  
動物感謝デー in JAPANのお知らせ ..... 11  
彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2025のお知らせ ..... 12  
日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター キックオフシンポジウムのお知らせ ..... 14

## ひろば

埼玉県獣医師会学術講習会 (西支部担当) 開催報告 ..... 15  
令和7年度関東・東京合同地区獣医師会親善チャリティーゴルフコンペ参加報告 ..... 16

### お知らせ

埼玉県からのお知らせ ..... 17  
埼玉県獣医師会学術広報版 ..... 18

### 事務局より

事務局メモ ..... 19

編集後記 ..... 20

# 公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めま

す。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

# 埼玉県内における重症熱性血小板減少症候群（SFTS） ウイルス感染アライグマの確認について

埼玉県環境部みどり自然課長から、今年7月に県内で捕獲されたアライグマからSFTSウイルスに対する抗体が検出されたとの通知がありました。

みどり第726-3号  
令和7年9月12日

公益社団法人埼玉県獣医師会  
会長 中村 滋 様

埼玉県環境部みどり自然課長 高橋 和宏（公印省略）

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス感染アライグマの確認について（通知）

野生生物保護管理行政の推進につきましては、日頃から御理解と御協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、今年7月に県内で捕獲されたアライグマから SFTS ウイルスに対する抗体が下記のとおり検出されましたので、情報共有させていただきます。

SFTS は、ヒトが SFTS ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染するほか、ウイルスに感染した野生動物に咬まれたり、血液などの体液に直接触れたりすることで感染することも報告されています。

ヒトが SFTS ウイルスに感染すると、死亡や重篤な症状となる可能性があるため、アライグマの捕獲など野生動物に触れる際は十分ご注意ください。

なお、公開されているマダニ対策方法及び野生動物での感染状況に関する資料を添付いたしますので、業務の参考にしてください。

## 記

### 1 SFTS ウイルスに対する抗体検出状況

- アライグマ捕獲場所：北本市内
- アライグマ殺処分時期：令和7年7月22日
- ウイルスに対する抗体判明時期：令和7年9月8日

### 2 野生動物に触れる際の注意点

- 野生動物にマダニが付着している可能性があるため、マダニ対策を行う。
- 野生動物に素手で触らない。手袋等を着用する。
- 野生動物に触れた場合は、速やかに手洗い、消毒を行う。

## 国内外における重症熱性血小板減少症候群（SFTS） の発生状況について（情報提供）

日本獣医師会から、国立健康危機管理研究機構ホームページの「国内外における重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の発生状況について」が改訂されたとの情報提供がありました。

事務連絡  
令和7年9月22日

公益社団法人 日本獣医師会 御中

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課

国内外における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生状況について（情報提供）

今般、国立健康危機管理研究機構において、下記のとおり、国内外における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生状況について改訂されましたのでお知らせします。本件について、貴会会員への周知をお願いします。

なお、同様の事務連絡を都道府県等に発出しておりますことを申し添えます。

記

「国内外における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生状況について」（2024年8月1日付け 2025年9月18日改訂）（国立健康危機管理研究機構ホームページ）  
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/12668-sfts-ra-0801.html>

# 獣医療関係者の SFTS 発症動物対策について (2025バージョン)

国立感染症研究所ホームページの「獣医療関係者のSFTS発症動物対策について(2025バージョン)」から一部抜粋しました。全文は以下URLを参照してください。

[https://www.niid.jihs.go.jp/content2/research\\_department/vet/animal-borne-2\\_2025-06-10.pdf](https://www.niid.jihs.go.jp/content2/research_department/vet/animal-borne-2_2025-06-10.pdf)

## 獣医療関係者のSFTS発症動物対策について(2025年バージョン)

### 原因

SFTS(Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome)は、高熱と白血球減少、血小板減少(thrombocytopenia)を主徴とする重篤な熱性疾患として中国で2011年に報告された。マダニ媒介性の新興感染症Emerging Infectious Diseaseである。ブニヤウイルス綱ハレアウイルス目フェヌイウイルス科バンドウイルス属に分類されるSFTSウイルス(種名 *Bandavirus dabiense*)によって引き起こされる。

SFTSウイルスはマダニの吸血によってヒトや動物に伝播するアルボ(節足動物媒介)ウイルスである。同じフェヌイウイルス科にはダニだけではなく蚊・サシチョウバエといった吸血昆虫によって媒介されるウイルスが含まれている。これらのウイルスは共通して節足動物の吸血の際の伝播を基本様式としつつ、感染動物の体液などを介した濃厚接触によっても伝播する可能性があることから、特に動物との接触機会の多い獣医療関係者は注意が必要である。

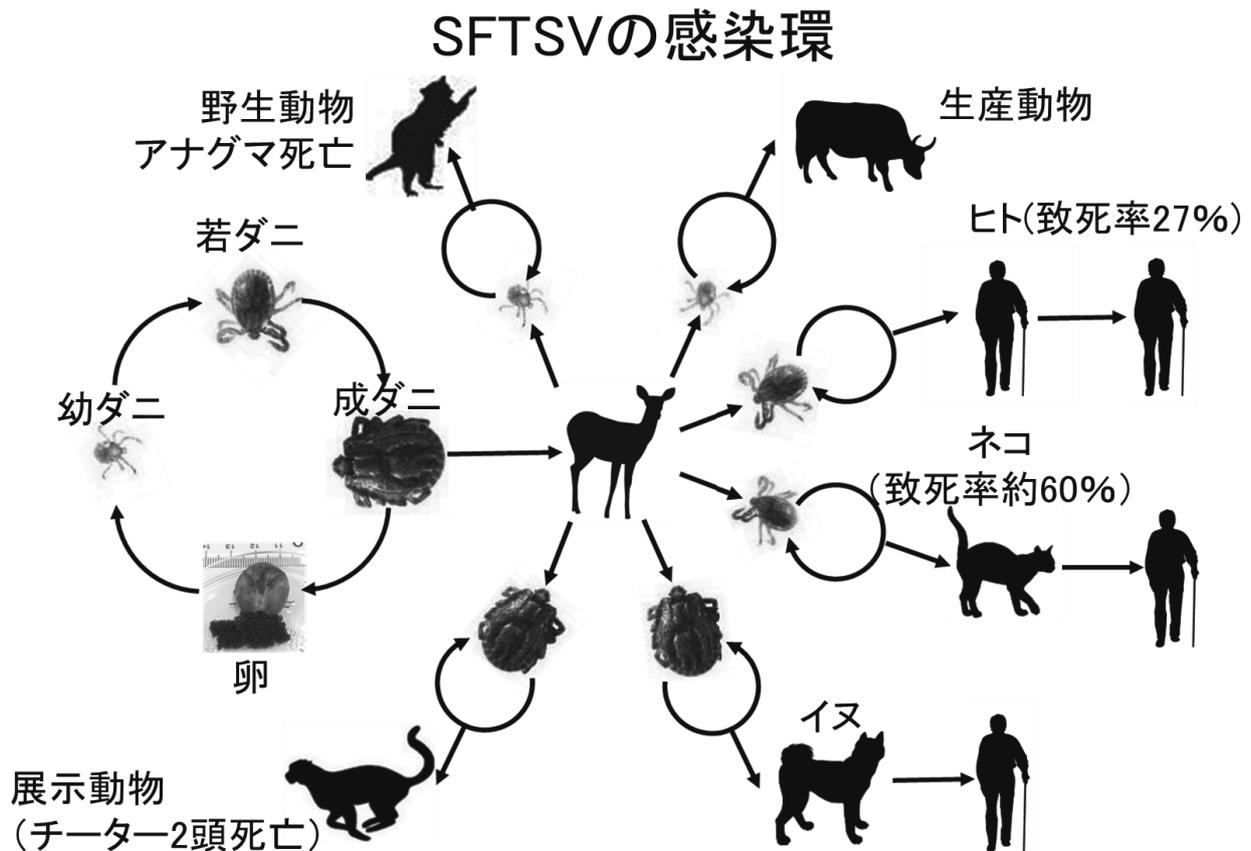
SFTSウイルス粒子は約110nmの球形であり、エンベロープを持ち、粒子内にウイルスタンパク質に覆われた3分節のマイナス鎖RNAを有している。エンベロープウイルスは一般的に界面活性剤に弱く、SFTSウイルスも同様に消毒液により失活しやすいウイルスである。複数の遺伝子型の報告があるものの、異なる抗原性のウイルスが出現した報告はなく、単一の抗原型を有すると考えられている。また、分節ウイルスであるため、遺伝子再集合(リアソータント)により異なるウイルスの遺伝子を獲得する可能性がある。

### 動物におけるSFTS

動物におけるSFTSの調査は各国で行われており、患者発生地域では野生動物での抗体保有率が高く、さまざまな動物種がSFTSウイルス感染に感受性であることが分かっている。また、患者発生地域外であっても抗体陽性の野生動物が見つかることから、これまで患者発生の報告がない地域においても、SFTSウイルスに感染した動物が動物病院等に持ち込まれる可能性は否定できない。また、流行地からの保護動物が未発生地域の動物病院に持ち込まれた例もある。未発生地域でも注意が必要である。

一方で、SFTSウイルス感染によりヒトと同様のSFTS様疾患を発症するかどうかについては動物種間で差があり、ほとんどの動物は無症候で耐過すると考えられている。その中で、比較的感受性が高いネコ科動物であるネコやチーターやイヌは致死的なSFTS様疾患を発症する。最近野生動物であるアナグマのSFTS感染死が見つかっている。発症動物から人(獣医師・飼い主・動物医療関係者)への伝播・発症例も見つかったことから、獣医療現場における本疾患の重要性が増している。

本手引きはこうした状況を受けて、獣医療現場におけるSFTS診療についてまとめたものである。動物SFTSの診断や獣医療従事者の防護策についての正しい理解が広がることで、獣医療施設での感染事故が防ぐことができれば幸いである。



#### SFTS 発症動物の臨床症状

ネコでは、1歳以下の若齢から発症例がみられ、雄雌差は特にはない。元気・食欲低下、発熱(39℃以上)、黄疸が多くの症例でみられ、下痢や嘔吐等の消化器症状を示す症例もみられる。血液検査では、白血球数減少、血小板数減少、AST/GOT 値上昇、CK/CPK 値上昇、T-bil 値上昇がみられる。発症後の致死率は60%前後で高く、重症例では急速に状態が悪化し、発症後数日で死亡する個体が多い。回復後の後遺症は特にみられていない。

イヌの SFTS 発症例においても、ネコと同様に元気・食欲低下、発熱(39℃以上)、白血球数減少、血小板数減少がほぼすべての症例でみられ、致死率も40%以上と高い。しかし、犬の場合は猫に比べて軽症であり、不顕性感染である可能性も高い。そのため、犬の場合は、様々な病態を呈していると考えられている。基準に当てはまらない場合でも、感染を疑う場合は、検査することを推奨する。

臨床症状	ネコ	イヌ
元気・食欲低下	100%	100%
発熱(≥39℃)	78.2%	100%
嘔吐	56.9%	25%
下痢	10.3%	25%
黄疸	95%	50%
死亡	59.7%	44%
白血球数減少	78.1%	100%
血小板数減少	98.0%	100%
ALT/GPT 高値	43.1%	63%
AST/GOT 高値	91.0%	66%
CK/CPK 高値	100%	100%
T-bil 高値	96.9%	50%
CRP 高値	N.A.	100%

— SFTS を疑う基準 —

臨床症状等:

発熱、元気・食欲低下、黄疸、マダニ寄生

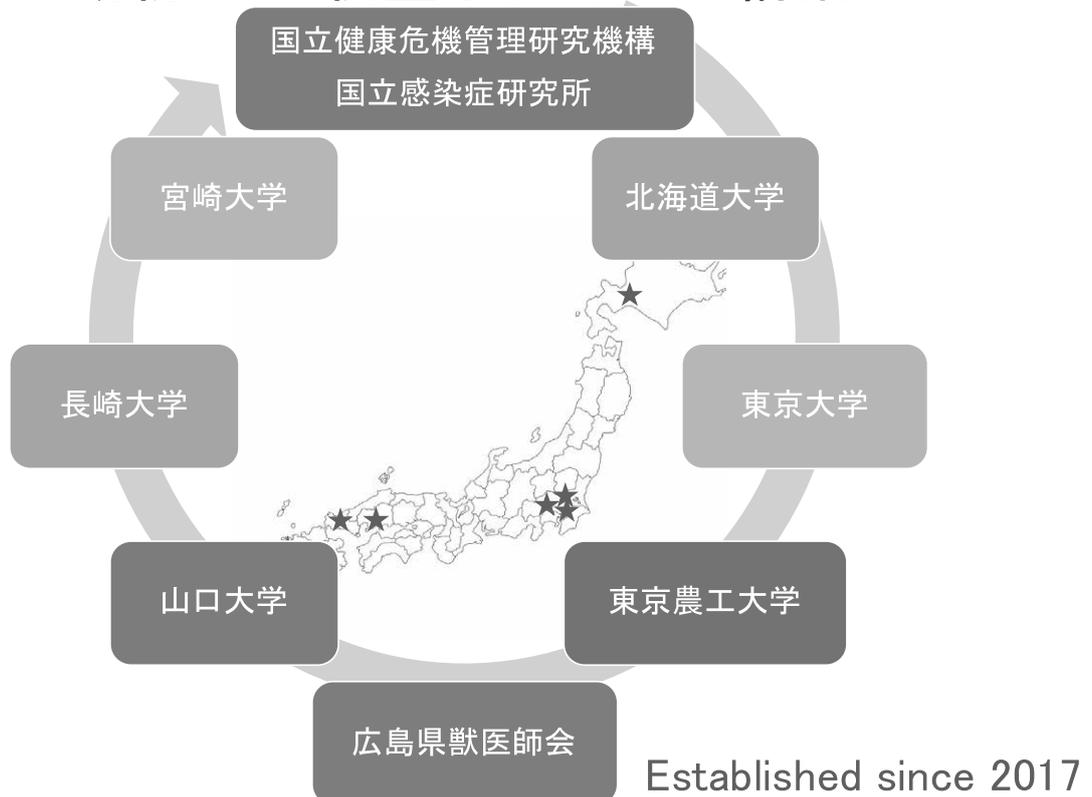
血液検査:

白血球数減少、血小板数減少、AST/GOT 値上昇、  
CK/CPK 値上昇、T-bil 値上昇

## 診断

動物における SFTS の病原体診断および血清診断は、国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所、国内の大学、および一部の県衛生研究所・検査会社等で行っている。SFTS を疑う動物を診察した際は、各研究機関に事前に連絡を取り、検体送付方法などを確認した上で、下記を参考に検査依頼を行っていただきたい。

## 動物SFTS検査ネットワーク構築

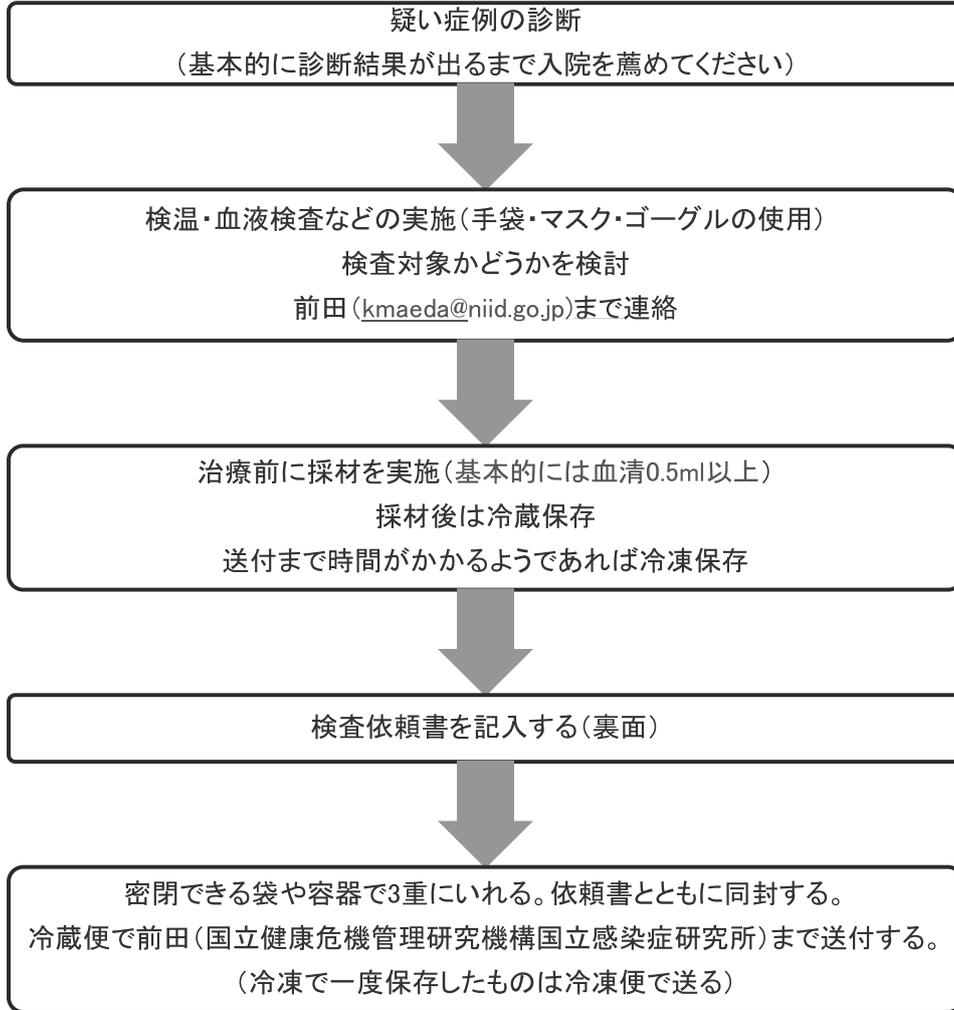


## SFTS 検査依頼に関して

検査推奨項目とこれまでの症例の傾向

発熱	白血球減少	血小板減少	肝酵素上昇	重症
CK 上昇	T-Bil 上昇	黄疸	嘔吐	消化器症状

### SFTS 検査依頼の仕方のフローチャート



診断・採材時は手袋・マスク・ゴーグル着用  
 検体の取り扱い・汚染に注意  
 汚染した可能性がある場合は、0.5%次亜塩素酸ナトリウムで消毒

動物に咬まれた場合や、体液・排泄物に汚染された鋭利器材で受傷した場合  
 また体液・排泄物によって粘膜や損傷した皮膚が汚染された場合  
 至急、医師に相談してください。担当者も相談にのることができます。

感染したか不安な場合  
 体温を 14 日程度測定。発熱があれば医師に相談

飼い主さまへの指導  
 体温を 14 日間程度測定して、発熱があれば至急病院に行くように伝えてください。

## SFTS 検査依頼書

下記に記入し郵送願います。(□に✓、必要な部分には詳細記載)

依頼病院名		担当者名	
住所 (連絡先)	〒		
	TEL:	FAX:	
	Email:		

検体の種類	<input type="checkbox"/> 血清	<input type="checkbox"/> スワブ ( <input type="checkbox"/> 口腔内 <input type="checkbox"/> 肛門 )
検体採取日	年 月 日	

患者(動物)の名前		居住地	都道府県:	市町村:
動物種	<input type="checkbox"/> 犬 (種類: ) <input type="checkbox"/> 猫 (種類: )		<input type="checkbox"/> その他 ( )	
年齢	歳 カ月齢	体重: kg	性別:	
飼育環境	<input type="checkbox"/> 室内のみ <input type="checkbox"/> 室内および屋外 <input type="checkbox"/> 主に屋外			
マダニの寄生	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 過去有 ( 年 月 頃?)			
ノミ・マダニ予防薬 投与歴	最近の投与		製品名	
	年 月 日			
ワクチン接種歴	接種年月日 (最近)		製品名	
	年 月 日			
発症年月日	年 月 日			
症状	<input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 白血球数減少 <input type="checkbox"/> 血小板減少 <input type="checkbox"/> 黄疸 <input type="checkbox"/> 消化器症状 ( <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 嘔吐 ) <input type="checkbox"/> 元気・食欲低下 <input type="checkbox"/> その他 ( )			

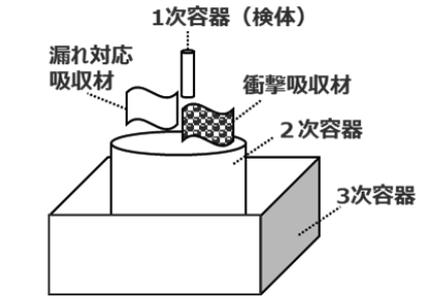
検査データ	発病初期 ( 月 日 )	現在 ( 月 日 )
発熱 (°C)		
赤血球 (μL)		
白血球 (μL)		
血小板 (μL)		
ALT(GPT) (IU/L)		
AST(GOT) (IU/L)		
CPK(CK) (IU/L)		
T. Bil (mg/dL)		
その他 ( )		
その他 ( )		
その他 ( )		
発症からの経過 気付いた点		

**実験室診断**

病原体診断は、RT-PCR 法またはリアルタイム RT-PCR 法により SFTS ウイルス遺伝子検出が行われる。SFTS 感染動物では、血液、血清、血漿の他、口腔スワブ、肛門スワブ、眼スワブなど、あらゆる体液や分泌物からウイルスが検出される。

血清診断は、ペア血清による抗体陽転または抗体価上昇により判定される。猫と犬においては IgM-ELISA および IgG-ELISA 法が行われている。間接蛍光抗体 (IF) 法や中和抗体価測定法も有効である。

検体を採取後は冷蔵、送付まで時間がかかるようであれば冷凍で保存する。検体を送付する際は、基本三重梱包とし、冷蔵または冷凍で送付する。



梱包UN規格カテゴリ-A容器を使用するのが望ましい。

— 採取する検体 —  
**病原体診断**  
 血清(血漿、口腔スワブ、肛門スワブ、眼スワブ)  
 基本は血清 0.5ml 以上

**入院と治療について**

飼い主や他の動物への感染拡大を考慮し、SFTS が疑われる症例は確定診断前であっても原則すべて入院下で管理する。公衆衛生上重要な疾患であることを認識し、可能な限り飼主の理解を得るよう説明する。



## 予 告

## 北支部・しゃくなげ会合同研修会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 産2(1)①)

北支部長 山口 達也  
北支部学術(産業動物担当)副委員 柿沼 清市  
しゃくなげ会埼玉県支部長 大倉 一展

北支部・しゃくなげ会埼玉県支部では、酪農学園大学獣医学群 獣医学類生産動物内科准教授の三浦亮太郎先生をお招きして、合同学術研修会を開催いたします。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日 時：令和7年10月17日(金)  
14:00～16:00

場 所：埼玉県熊谷家畜保健衛生所 講堂  
埼玉県熊谷市円光1-8-30  
TEL 048-521-1274

演 題：「黒毛和種の繁殖生理をふまえた繁殖管理」

講 師：酪農学園大学獣医学群獣医学類生産動物内科  
准教授 三浦 亮太郎 先生

参加費：埼玉県獣医師会、しゃくなげ会会員 無料  
会員以外の受講者 3,000円

広告

# 69年の歴史を持つ動物の総合専門学校

～1956年創業 犬のお店「青山ケンネル」から続く歴史～

## 国際動物専門学校 (IAC東京校)

-  愛玩動物看護学科(3年制)
-  美容・デザイン学科(2年制)
-  自然環境・動物飼育学科(2年制)
-  ドッグスペシャリスト学科(2年制)

## 大宮国際動物専門学校 (IAC大宮校)

-  愛玩動物看護学科(3年制)
-  美容・デザイン学科(2年制)
-  美容・スモールペット学科(2年制)
-  自然環境・動物飼育学科(2年制)
-  ドッグスペシャリスト学科(2年制)



学校法人 シモゾノ学園  
国際動物専門学校  
大宮国際動物専門学校

2024年度 第3回愛玩動物看護師国家試験  
両校 愛玩動物看護学科  
116名受験 115名合格  
合格率 99.1%



求人票の送付・お問い合わせはこちら

求人票は下記HPよりダウンロードできます!

シモゾノ学園HP: <https://www.iac.ac.jp> (両校データは同じです)

【国際動物専門学校】

〒154-0011 東京都世田谷区上馬  
4-3-2

TEL: 03-5430-4400(就職サポート室)  
MAIL: shushoku@iac.ac.jp

【大宮国際動物専門学校】

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町  
2-289-2

TEL: 048-648-8400(就職サポート室)  
MAIL: omiya-shushoku@iac.ac.jp

JAHA 年次大会 2025

## One Well-being 「対話」

—すべての生命が響き合う、  
調和の未来へ—

11月26日水・27日木

会場 AP東京八重洲



「対話」をキーワードに充実したセッションが満載！

VET VN 市民

イヌは世界をどう認識しているのか  
～視覚・認知・行動に関わる  
遺伝的背景の理解～

●講師



菊水 健史先生  
(麻布大学)



VET VN

こんなときどうする？  
VET×VNコラボの力（症例検討）

●獣医師



小山田 和央先生  
(松原動物病院)



津木 貴臣先生  
(TRVA動物医療センター)

●愛玩動物看護師



旭 あすか先生  
(りんこの里動物病院)



新谷 政人先生  
(クロス動物医療センター)

VET 症例検討から学ぶ治療戦略  
内科疾患・外科疾患

VN “対話”を生む看護記録とは？  
—患者・飼い主・スタッフをつなぐ言葉

特別プログラム One Well-being  
動物病院の未来に向けて

大会記念講演 新時代の組織づくり：軍事的世界観から  
冒険的世界観へのカルチャー改革

全てのプログラム

参加費無料

(懇親会のみ別途有料)

お申し込みは  
こちら

JAHA 公益社団法人  
日本動物病院協会

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7F  
TEL : 03-6262-5252 E-mail : info@jaha.or.jp

楽しみながら  
獣医師を知り  
動物と仲良くなろう！



2025  
**11/15**(土)  
10:00 ~ 16:00



動物との暮らしを考えよう！  
ブース展示コーナー



ペットの健康を学ぼう！  
獣医師体験コーナー



楽しみながら知ろう！  
ステージイベント

**上野恩賜公園**

(不忍池周辺)

JR・地下鉄・日比谷線「上野駅」下車 徒歩約2分  
京成線「京成上野駅」下車 徒歩約1分

**入場無料**  
＜雨天決行＞

主催：  公益社団法人 **日本獣医師会**  
いのちみつめる。いのち育む。

<公式ホームページ>  
<http://doubutsukansha.jp/>  
2025 動物感謝デー

2025.5

— 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。 —

彩の国さいたま

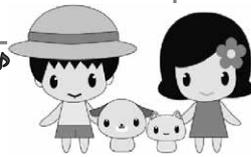


# 動物愛護フェスティバル 2025

主催：埼玉県  
共催：埼玉県熊谷保健所管内熊谷地区狂犬病予防協会  
後援：公益社団法人 埼玉県獣医師会  
熊谷市、寄居町

開催日時：11月16日（日）  
午前10時～午後3時  
開催場所：熊谷スポーツ文化公園  
（くまがやドーム及び屋外会場）  
かみかわかみ  
熊谷市上川上300番

みんなきてね♪  
おまんこ  
記念品もあるよ



くわしいスケジュール  
は[うら]を見てね



ホームページはこちらから

ふ れ あ う  
ワンちゃんとのふれあい  
(屋外会場)

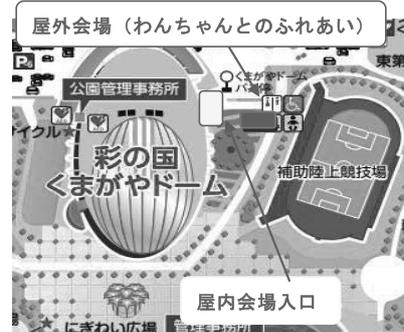
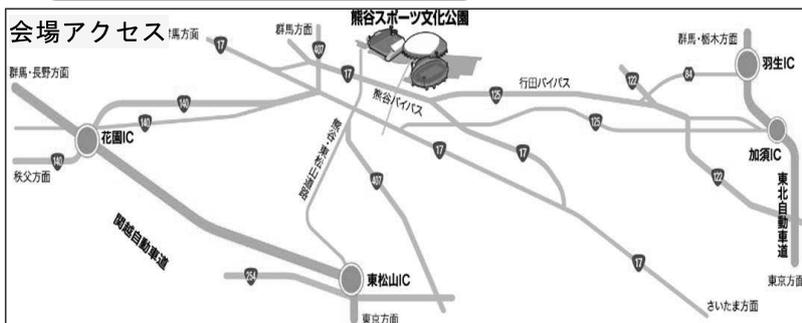
の し た む  
●どうぶつ〇×クイズ  
●どうぶつ折り紙ついでゲーム  
●お絵かき・折り紙  
●パネル展示 ほか

ご 護 講 座  
あい 愛  
●聴導犬のお話と実演  
●獣医さん体験 ●マイクロチップ体験  
●ペット防災  
●動物愛護団体の紹介 ほか

お問い合わせ：埼玉県動物指導センター  
☎ 048-536-2465  
当日の連絡先 080-5076-3635  
(10:00~15:00)

～注意事項～

※都合によりイベント内容を変更することがあります。センターHPを御覧ください  
※本イベントには動物を連れての参加はできません(身体障害者補助犬を除く)  
※会場の混雑状況により入場制限を行います  
※本人又は同居家族に発熱等の症状がある場合は来場をご遠慮ください  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0716/doubutuaigno-festival.html>



当日は公園内でドリームフェスタが開催されます。駐車場の混雑が予想されますので積極的に公共交通機関をご利用下さい。

# スケジュール

**11/16**  
**(日)**  
**10:00~3:00**



埼玉県のマスコットコバトン

**開会式典** 11:00~11:50 みんな来てね  
記念品もあるよ

★開会式 あいさつ  
★表彰式 動物愛護管理功労者表彰

**愛護講座 (見て聞いて学ぼう)**

10:30~11:00 聴導犬のお話と実演 (1回目) 公益社団法人日本聴導犬推進協会  
1:00~ 1:45 聴導犬のお話と実演 (2回目)  
耳の不自由な人たちに必要な音の情報を!

10:00~11:00 ペットの飼い方相談 熊谷地区狂犬病予防協会  
地元の開業獣医さんが、ペット相談について答えてくれるよ。

10:00~ 3:00 獣医さん体験 (白衣・聴診器で記念撮影)、ペット防災  
マイクロチップ体験、心肺蘇生、動物愛護団体の紹介  
ほか

**ワンちゃんとのふれあい** 10:00~3:00  
(屋外会場)

動物の負担を考え、途中数回の休憩が入ります。  
また、天気により中止になる場合があります。  
→ スケジュールなどは動物指導センターのホームページでご確認ください

**たのしむ** 10:00~3:00

★どうぶつ〇×クイズ ★パネル展示  
★どうぶつ折り紙つりゲーム  
★お絵かき・折り紙 ほか

午前	10:00	10:30	11:00	11:30	午後	12:00	12:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00
			式典									
	お話と実演							お話と実演		聴導犬コーナー		
	ペットの飼い方相談											
	ワンちゃんとのふれあい (屋外会場)							(動物の負担を考え、途中数回の休憩が入ります)				
	獣医さん体験、どうぶつ〇×クイズ、どうぶつ折り紙つりゲーム、ペット防災、心肺蘇生、マイクロチップ測定体験、お絵かき・折り紙、パネル展示 動物愛護団体の紹介 ほか											

**犬・ねこの譲渡について** 

県では、処分される不幸な命を減らすため、新しい家族として犬・ねこを迎えていただける方を募集しています。  
もし、新たに家族として迎え入れることを考えている方は、ペットショップ以外の方法 (埼玉県や動物愛護団体からの譲渡) も検討してはいかがでしょうか。

<お問合せ>  
埼玉県動物指導センター  
本所 048-536-2465  
南支所 048-855-0484

# 日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター キックオフ シンポジウム

11月

9日

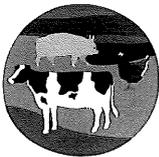
日

時間

13:30

|

15:00

当日参加  
OK

ワンヘルス・ワンウェルフェアセンターは、「人と動物が健康で幸福に暮らすことのできる社会の実現」に向け、学内外で連携して推進することを目的に、2025年1月に設置されました。

新設置を記念し、キックオフシンポジウムを開催いたします。

## プログラム

### 13:30 開会の挨拶・概要説明

ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター長 田中 亜紀 特任教授



### 13:40 基調講演 「海岸に打ち上がる海の哺乳類から見えてくるワンヘルス」

国立科学博物館・日本獣医生命科学大学 田島 木綿子 客員教授



### 14:20 研究部門紹介

伴侶動物部門 「若齢犬・猫の疾患予防に向けた疫学調査」

獣医学部 獣医学科 道下 正貴 准教授



産業動物部門 「牛の下痢に勝つ！お腹で戦う新しい腸管ワクチンの開発」

獣医学部 獣医学科 氏家 誠 准教授



野生動物部門 「ストレスから読み解く、動物福祉と環境評価」

獣医学部 獣医保健看護学科 嵐本 樹 講師



### 15:00 閉会の挨拶

## 詳細

日時：令和7年11月9日(日) 13:30~15:00

場所：日本獣医生命科学大学 E棟1階 E111講義室

内容：開会挨拶、基調講演、研究部門紹介、閉会挨拶

主催：日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター

参加対象：関係機関(JAC環境動物保護財団等)、研究者、企業、自治体、一般参加者など

お問合せ先：日本獣医生命科学大学 ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター事務局

[research@nvl.u.ac.jp](mailto:research@nvl.u.ac.jp)

▽お申し込みはコチラ



ひろば

## 埼玉県獣医師会学術講習会(西支部担当)開催報告

西支部長 堅木 道夫  
 学術委員会委員長 山口 達也  
 西支部学術委員 岩崎 隆

西支部では令和7年8月3日(日)、北里大学獣医学部獣医学科獣医伝染病学研究室の高野友美教授をお招きして、「猫のコロナウイルス感染症の診断から治療まで」という御演題で、猫のコロナウイルス感染症について、基礎から臨床まで幅広く学術的に、最新の御講義をして頂きました。

御講義内容は、猫伝染性腹膜炎について、基礎から応用まで幅広くそして深くご講義頂きました。特にFIPドライタイプの診断方法と、モルヌピラビルを中心とした、新薬の使用方法やその反応性については最新の情報であり、大変貴重なお話を聞かせて頂きました。今後のFIPの診断治療に活用させて頂きたいと思えます。

<受講者内訳>

出席者	さいたま市支部	南支部	西支部	北支部	東支部	団体支部	会員外
33名	0名	1名	26名	0名	1名	2名	3名



**原材料と嗜好性にこだわった  
イタリア生まれの療法食「ファルミナ ベットライフ」**



**種類豊富な療法食、「ファルミナ ベットライフ」ラインナップ**

	犬用製品		猫用製品	
	ドライ	ウェット	ドライ	ウェット
回復期ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
消化器ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
消化器ケアー加水分解フード(低脂肪)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
肝臓ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
皮膚ケアー低アレルギー(ポーク&ポテト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
皮膚ケアー低アレルギー(ニシン&ポテト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
皮膚ケアー低アレルギー(フィッシュ&ポテト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
皮膚ケアー低アレルギー(ダック&ポテト)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
皮膚ケアー加水分解フード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
尿路ケアS	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
尿路ケアS/O	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
尿路ケアO	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
腎臓ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
体重ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
体重ケアーフィッシュ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
糖質ケア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

輸入業者  
**ファルミナペットフーズ・ジャパン株式会社**  
 東京都品川区北品川5-12-4 リードシー御殿山4階

販売業者  
 **日本全薬工業株式会社**  
 ZENOAQ 福島県郡山市安積町世川字平ノ上1-1

## 令和7年度関東・東京合同地区獣医師会 親善チャリティーゴルフコンペ参加報告

(公社)埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長 長谷川繁雄

9月8日(月)山梨県北杜市のシャトレゼヴィンテージゴルフクラブにおいて、山梨県獣医師会主催で関東連チャリティーゴルフコンペが開催されました。

このゴルフコンペは、毎年関東・東京合同地区獣医師大会の翌日に各獣医師会支部対抗で獣医師会員相互の親睦を目的として開催されています。今年は埼玉県獣医師会より、10名の会員が参加しました。

結果は2ポイント差の3位と残念な結果となりましたが、八ヶ岳の麓の高原リゾートゴルフ場でのプレーは、一年ぶりに再会した近県獣医師会の仲間と学会後の疲れた脳を癒やすのに心地よい一日となりました。

成績	獣医師会名	ポイント
優勝	千葉県獣医師会	326.0
第2位	横浜市獣医師会	326.0
第3位	埼玉県獣医師会	328.0
第4位	神奈川県獣医師会	330.0
第5位	群馬県獣医師会	342.0

※：1位、2位は参加者の年齢により決定しました。



前列左から 高野辺智和様(会員外)、長谷川繁雄先生(東支部)、増田淳先生(農林支部)、  
豊泉正重先生(西支部)、山田和男先生(北支部)、  
後列左から 清水章先生(北支部)、田口修先生(東支部)、小堺正人先生(さいたま市支部)、  
高橋秀児先生(東支部)、宗像俊太郎副会長

畜安第 758－4 号  
令和 7 年 9 月 22 日

公益社団法人 埼玉県獣医師会会長  
中村 滋 様

埼玉県農林部畜産安全課長  
渡辺 志保（公印省略）

韓国の家きん農場における高病原性鳥インフルエンザ（H5N1 亜型）発生に伴う防疫対策の再徹底について（通知）

日頃から本県家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

標記について、令和 7 年 9 月 16 日付け 7 消安第 3657 号により、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から通知がありました。

本事例は、韓国において冬季の渡り鳥の飛来が始まる時期である 9 月以降で初となる高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出事例であり、本県においても、韓国に飛来したのと同じ地域（シベリア等）からの渡り鳥や韓国からの渡り鳥の飛来によって本病ウイルスが持ち込まれる可能性があります。

また、北海道においても渡り鳥の飛来が確認され、発生リスクが高まっており、更なる警戒が必要です。

については、貴会会員に周知のうえ、引き続き、農場へのウイルス侵入防止対策等の再徹底を図るとともに、地域一体となった防疫対策の強化をお願いします。

## 令和7年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和7年9月20日現在)

年月日	産業動物	小動物	公衆衛生
4月			
5月			
6月			
7月1日(火)		さいたま市 「ワンヘルスの視点からの狂犬病」 大分大学グローバル感染症研究センター 西園 晃 先生 (さいたま市 ソニックシティ)	
8月3日(日)		西支部 「猫のコロナウイルス感染症の診断から治療まで」 北里大学 高野友美 先生 (川越市 ウェスタ川越)	
8月3日(日)		東支部 「はじめての椎間板ヘルニア」 とがさき動物病院 灰井康佑 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
8月14日(木)		南支部 「犬・猫の呼吸器疾患における吸入療法」 日本獣医生命科学大学 藤原亜紀 先生 【Zoomにて開催】	
9月7日(日)	令和7年度 関東・東京合同地区獣医師大会(山梨) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (中巨摩郡昭和町 アビオタワー館)		
10月17日	北支部 「黒毛和種の繁殖生理をふまえた繁殖管理」 酪農学園大学獣医学群 獣医学 類生産動物内科 准教授 三浦 亮太郎 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
11月			
12月			
令和8年 1月	農林支部 令和7年度埼玉県家畜保健衛生 生業績発表会 (場所 未定)		
2月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3月			
4月21日(火) ～24日(金)	令和7年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (東京都 東京国際フォーラム)		

## 事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vm.org/>  
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

令和7年	11月15日 動物感謝デー in JAPAN(東京都台東区上野恩賜公園)
10月13日 第42回ソフトボール大会(さいたま市大宮けんぼグラウンド)	11月16日 動物愛護フェスティバル(熊谷市 熊谷スポーツ文化公園)
10月15日 第2回獣医事調査委員会(さいたま市埼玉県農業共済会館)	12月11日 集合狂犬病予防注射実施者講習会(さいたま市 レイボックホール)
10月17日 北支部・しゃくなげ会合同研修会(熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)	令和8年
10月22日 第3回理事会(さいたま市 埼玉県農業共済会館)	1月16日 埼玉県家畜保健衛生業績発表会(場所未定)
10月24日 埼玉県公衆衛生事業功労者表彰式(さいたま市 埼玉県庁第三庁舎)	2月15日 第1回関東・東京合同地区理事会(山梨県笛吹市 石和温泉慶山)
11月5日 第1回畜産懇話会(さいたま市 別所沼会館)	4月21日 第41回世界獣医師大会(東京都千代田区～24日 東京国際フォーラム)
11月9日 政令指定都市連絡協議会(川崎市 ステーションコンファレンス川崎)	4月21日 令和7年度日本獣医師会獣医学術学会年～24日 次大会(東京都千代田区 東京国際フォーラム)
11月14日 全国獣医師会会長会議(東京都港区 明治記念館)	

※：会報第742号(冊子版)掲載記事の訂正について。

前号会報に以下のとおり誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

なお、ホームページ掲載版は修正済みです。

9頁下段右側写真の説明 誤：乾杯 坂梨栄二食品衛生安全局長  
正：締め 片山智之生活衛生課長

10頁上段写真の説明の3行目中央 誤：中村滋副会長  
正：中村滋会長

10頁上段写真の説明の8行目に追加 1人おいて、片山智之生活衛生課長(衛生支部)、  
左から4人目、加藤知子食品安全課長(衛生支部)

## 編集後記

いつの間にか少しずつ秋の気配が感じられるようになってまいりました。

最近注視されておりますSFTS関連につきましては本号にもあるように、ここ埼玉でもアライグマからウイルスが確認されており、動物を扱う立場として日々の業務には十分な注意が必要と思われます。県内において動物の迅速な検査体制の確立が早期に望まれるところです。

自民党総裁選挙の告示がなされ、5人の候補者が論戦を繰り広げております。各候補の発言をつぶさに聞くとその内容は、増え続けるインバウンドの観光客と外国人労働者、留学生、文化の違いによる混乱、性善説に基づいた日本の法体系、移民問題、治安、物価、経済、環境問題、外交、再生エネルギー、各種補助金の在り方、防衛、国民の暮らし、減税、社会保険料や年金、少子化対策、農業対策など様々な分野に及んでいます。各候補者とも自分の思い描く日本の将来像について党员、党友、ひいては国民の理解を得ようと訴えかけています。労働者の賃上げが中小企業まで十分に及んでおらず、その対策まで踏み込んだ発言もありました。給付付き税額控除についても現実味を帯びてきました。将来の国民の暮らしは、どなたが自由民主党総裁になり、そして野党も含めどなたが内閣総理大臣になるかで国の進む方向性が変わってまいります。将来国のトップに立つ方には国民の望む国の在り方にしっかりと耳を傾けていただきたいと思います。

先日の国連総会においては、石破首相が安保理常任理事国の持つ拒否権により戦争抑止がで

きない現状に鑑み国連改革の必要性に触れておられました。また、ウクライナのゼレンスキー大統領は長期化した戦争を終わらせるために「自国の平和を実現するのは国際法ではなく同盟国と武器だけだ」と発言し、トランプ大統領は「国連などの国際機関が世界の秩序を著しく衰退させた」という趣旨の発言をされたそうです。欧米における大量移民による社会の混乱や、第2期トランプ政権となった米国による相互関税の創設、地球温暖化対策のため実施してきたエネルギー政策の変更、国境措置の強化等によって、国連主導により拡大して来た自由貿易に代表されるグローバル化の波は、大きな岐路に差し掛かってきたようです。

いずれにしましても、世界情勢がなお不安定な中、我が国の立法府である国会、執行する政府、政治の在り方によって変わる世界の中の日本、日本の中の私たちのささやかな生活です。少子高齢化が叫ばれる中、これから生まれてくる子供達や若者の将来が、豊かで輝きに満ちていますよう、国のリーダーとなる方には全力を發揮していただきたいと思います。 (燕雀)



## 日本獣医師会・獣医師会活動指針

### － 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

#### 【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

広告



こわい狂犬病から  
ほくを守ってね

毎年1回の狂犬病予防注射を忘れずに!



研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所

製造販売元 松研薬品工業株式会社

〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号  
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344  
URL: <http://www.matsuken-yakuhin.com>  
E-mail: [daihyo@matsuken-yakuhin.com](mailto:daihyo@matsuken-yakuhin.com)

## ■ 松研狂犬病 TC ワクチン

劇 要指示 指定

### 松研の動物用生物学的製剤

#### 豚用ワクチン

- 豚熱生ウイルス乾燥予防液  
(豚コレラ生ウイルス乾燥予防液)
- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

#### 水産用ワクチン

- Mバック レンサ 注
- Mバックイニエ
- 松研Mバック IPレンサ

#### 家畜用抗毒素

- 破傷風血清

広告

人が食べるものと同じだけ安全で  
美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド

# Dr. CREDO

胃腸と皮膚が気になる

成犬用 総合栄養食 **No.1**

血流と健康が気になる

中・高齢犬用 総合栄養食 **No.2**

体重と健康が気になる

成犬用 総合栄養食 **No.3**



こだわりの国産品。

いつでも新鮮! 小分けパック。

下部尿路に **No.1**

体重管理に **No.2**

7歳から **No.3**

美味しさに  
自信

ドクターイデア

# Dr. IDEA

愛犬・愛猫のトータルサポートフード 着色料不使用 自然派由来の酸化防止剤

## 森久保CAメディカル株式会社

神奈川: 046-206-5713 山梨: 055-287-8622 東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881  
三郷: 048-948-2112 茨城: 0296-54-6101 千葉: 043-309-5430